

令和3年度第3回八戸市体育施設整備検討委員会 議事録

日 時： 令和4年2月14日（月） 午前10時～11時10分

場 所： 八戸市庁別館2階会議室BC

出席委員： 宮腰直幸会長、米内正明副会長、阿部寿一委員、荒木興一委員、
蝦名謙一委員、木村浩哉委員、佐々木敏文委員、鷹野貴子委員、
東山国男委員、山内隆委員

欠席委員： なし

事務局： 前田まちづくり文化スポーツ部長
和島スポーツ振興課副参事（スポーツ振興グループリーダー）
岡田スポーツ振興課主幹
岩田スポーツ振興課技査

次 第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 審議案件
八戸市体育館の機能・規模等について
4. その他
5. 閉会

事務局 事務局よりご説明いたします。資料 1 ページをお開きください。2 月 7 日に実施した長根公園内現地視察では、9 つの体育施設をご覧いただきました。本日はそのうち、八戸市体育施設整備に関する基本方針で、最重点に取り組むとした八戸市体育館と、体育館の建て替えに合わせて機能集約等するとされた施設について再確認したいと思います。

資料 2 ページの八戸市体育館をご覧ください。基本方針では建て替えに言及し、既存施設を使用しながら公園内の別な場所に建て替えを行う。建て替えの際は他の体育施設の機能集約を検討するとしております。利用者の推移をみると、個人利用のトレーニング室の利用の割合が多くなっております。

資料 3 ページの八戸市武道館をご覧ください。基本方針では、他都市を例に建て替え後の体育館への機能集約を検討する。オリンピックメダリストの顕彰方法については別途検討するとしております。利用者の推移をみると、剣道場の利用が多くなっておりますが、指定管理者から剣道以外にもフォークダンスなどでも利用されているというお話がありました。

次に資料 4 ページの八戸市弓道場をご覧ください。基本方針では、長根公園再編プランで予定されている公園外への移転は見送り、継続利用を基本とし、建て替え後の体育館への機能集約を検討するとしております。指定管理者の八戸弓道協会からは、昭和 52 年のあすなろ国体の練習会場として整備された施設で、大会での利用は想定されていない施設であるとのお話がありました。

次に資料 5 ページの長根公園水泳プールをご覧ください。基本方針では、継続利用を基本とするが、体育館の建て替えに合わせて移築または機能集約を検討するとしております。利用者の推移はグラフのとおりで、小学生以下の割合が多くなっております。指定管理者からは、屋外施設のため天候や気温の影響を受けるため、それによって利用者数の変動が大きくなるといったお話がありました。

次に資料 6 ページ 7 ページをご覧ください。こちらは、競技団体と指定管理者に対して行ったアンケート調査の中で、体育館の規模、必要な設備についてまとめ、現体育館と比較したものです。

現体育館は、面積 1,584 m²、会議室、トレーニング室、卓球場があるのに対して、各競技で全国大会に必要と考える面積や設備は、バスケット競技を例にしますと、バスケットコート 4 面、サブコート、会議室 10、シャワー室男女各 4、更衣室男女各 4 など、現体育館のスペックを大きく超えるものを必要とするといった意見がありました。また客席数についても現行の 2,000 席を超える、2,500～5,000 席といった意見がありました。地区大会に必要な体育館の規模についても同様の傾向となりました。また、3 は指定管理者が必要と考える体育館の規模で、現行と同規模の体育館という意見と、現行よりも大きい 2,400 m²程度の体育館という意見がありました。本日は、第 1 回委員会で説明させていただきます。

した利用者の推移や、市民向け、競技団体向け、指定管理者向け、プロスポーツチーム向けのアンケート調査の結果や、第2回委員会で確認した長根公園内体育施設の現状を踏まえ、「体育館規模や機能等について」ご意見いただければと思います。

また、平成29年1月から平成31年1月に実施した八戸市体育施設整備検討委員会の審議の意見を基に、平成31年3月に策定された八戸市体育施設整備に関する基本方針では、八戸市体育館は、公園内の別な場所に移転することとしており、この基本方針を前提に進めていきたいと考えておりますが、この件についてもご意見をお願いします。

今回委員の皆様から出されたご意見につきましては、次回の検討委員会までに事務局でまとめ、それを基に審議を進めていただきたいと考えております。

以上で事務局からの説明を終わります。

会 長 ありがとうございます。ただいま事務局から八戸市体育館の規模・機能等について、それともうひとつ長根公園内での移転についてということと基本方針の説明がありました。以上を踏まえまして委員のみなさまからご意見をいただきたいと思います。

ご意見あるかたまず挙手をお願いをしたいのですが、どなたかいらっしゃいますでしょうか。よろしいですか。そうしたらこの委員会の、前の委員会から継続して委員でいらっしゃいますA委員に最初にご意見をちょっといただきたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

A 委 員 はい。まず体育館をどういう状況でいまの長根の地区にもってきたいかというふうな話で、前回の2年間の会議の中で、私は個人的には他の地区に移転したほうがいいのかという意見をお話ししました。あともう1名の方と確か2名ぐらいで、ほとんどの方は現在の位置に建てかえたほうがいいのかという意見でございました。

私は個人的には先程お話したように、他の地区というのはどういうことかといいますと、やはり団体競技の場合に、この長根の現在の体育館の位置にまた建て替えると、どうしてもマイクロバスその他大型バスで移動するチームがけっこうありますので、なかなか中に駐車場を用意してたくさんの台数を駐車できるようになっても、入ってくる桜木町とか東北電力のあたりのところがたいへん混み合う。それからホテルの駐車場も大型バス等は駐車できないので、そういう点を考えて他の地区へ移転はどうかという意見を述べましたが、2年かけていろいろ話した中でも、基本方針は現在の長根公園内に建てかえるというかたちで決まりましたので、この件に関しては振り返る必要はないのではないかと考えております。これを他の地区にもっていくとなりますと、2年間かけて会議したということは何だったのか。当然議事録にもそういうかたちで載っていますので、現在の基本方針で進めていくしかないのかなと考えております。以上です。

会 長 はい。ありがとうございます。ちょっと我々ほかの委員というか、前回の会議にいない委員にはわからないところといいますか知らないところがあって、貴重な情報をありがとうございます。そうしましたら次に名簿から順にいかせていただきたいのですが、B委員ご意見をお願いいたします。

B 委 員 はい。おはようございます。建てる場所は長根公園内ということでの移転ということですが、この体育館に個人的にちょっと思っているのが、どういう機能をイメージとして今後集約していくか、動線についても考慮する必要があると思っています。建て替えと考えたときに、おそらくともとも沼があった場所になるとまた地盤の問題があり、いま建っている体育館の場所の地質とか、そういうのも今後場所を選ぶときに、選定する理由になってくるのかどうかというあたりをちょっと、聞いてみたいなと思っていますのが1つあります。

あとは、今A委員からもお話があって、前回のときに駐車場とそれから大型バスが入ってくる道路の動線の混雑とかっていう部分について、そういうのもまた踏まえてなにかしらこの公園内の入口とかそういうのを、そこは手をつけないで単純に体育館のみで焦点を絞って進めていくのかってというようなあたりをちょっと、今後どうしていくのかなとちょっと思っております。感じていました、はい。今は以上です。

会 長 はい。ありがとうございます。今B委員からもありましたが、まず入口のことといいますか、今A委員からもありましたけれども、いわゆる交通動線ですね。そのあたりというのは現状のままなのか、それとも手を加える余地があるのかというところは1つ重要な観点かと思えます。もしも今事務局のほうで何か回答できるのでしたら教えていただきたいのですが、そのあたりは何かありますでしょうか。

事 務 局 はい、事務局からですけれども、今八戸市のこの検討委員会では、体育館のことに特化して話し合うことにはなると思っているのですが、長根公園の交通動線となりますと、長根公園全体の整備の話になりますので、八戸市の中で言いますと、公園緑地課で緑の基本計画というのを今次に向けて策定しておりまして、そういったところと連携して、こちらの希望等を伝えていくということが考えられると思います。

また、YSアリーナ八戸の整備の際に、一旦周辺道路についてはご案内のとおり両側歩道だったものを片側に寄せて、そういう中で道路整備は一旦済んでいるというようなことだと思いますが、入口の部分については今YSアリーナ八戸のところに入っていくところを拡幅しましたけれども、体育館をどこに建てるかってことにもよりますが、もう1つ球場側、球場と長根リンク側、あそこにも入口がもう1か所ずつありますので、そのあたりの扱いをどうするのかということも体育館をどこに配置するかってことと合わせて、必要であれば検討するってということが可能なのかなとは思いま

すが、それは全体どうするのかということと合わせての検討になっていくと思います。

会 長 はい。ありがとうございます。もう1つ、今地盤のこともちょっとありましたけれども、これはおそらく建設時に何か資料といいますかそういったものがあると思いますので、できれば次回までにこのあたり何か用意していただけると、今の質問に対して回答となってくるとと思いますので、よろしく願いいたします。そうしましたら次にC委員お願いします。

C 委 員 よろしく願いいたします。まず、この間の見学会を通して、昔から使わせてもらっている施設ですけれども、やはり老朽化が厳しいな、危険な部分もあるなあとということを感じました。私は小学校のスポーツ少年団ですとか、バレーボール協会の方のお仕事もちょっとお手伝いさせていただいていますが、かつてバレーボール関係ではロシアの男子チームが来八したり、近いところではVリーグ、このときは3,000人を超えるお客さんが全国から集まってきたわけで、そうしたものを運営している中で、やはり今の体育館では一番困ったのが、選手の方と観客との接点をいかになくすかということがありました。どう運営するかというようなことがあって、非常に苦慮したのを覚えています。

今回の体育館施設の検討の際には、選手控室から会場までの動線も含めての検討になるかと思いますが、アンケート結果を見ても、プロの一流の選手のリーグを見たいという希望がたくさん寄せられていて、八戸は立地がいいので、プロの大会等が来ると、全国から人々が集まってきます。まさに子どもたちがそのような環境から、スポーツに対する夢や希望をますます膨らませる機会になりますので、ぜひそういうプロの試合にも対応できるような、体育館施設を子どもたちに夢と希望が膨らむような、そういう体育施設を検討していただきたいなあと感じていました。以上です。

会 長 はい、ありがとうございます。そうしましたら、次にD委員お願いしますか。

D 委 員 八戸市体育館をはじめ長根公園は、さまざまな競技ができる施設が街なかであり、現在まで様々な競技が盛んに行なわれてきております。駐車場の問題とかいろいろなことがあります。競技の種目とか築年数を考えて、そのあたりを移動したりすることもあるのかなあというのをちょっと考えてみました。はい、以上です。

会 長 はい、ありがとうございます。そうしましたら、次にE委員お願いしますでしょうか。

E 委員 先日は丁寧なご案内、各物の説明ありがとうございました。体育館につきましては説明にあったように、たくさんの市民の利用の人数があるので、その機能を十分に果たせるようにしなければならないのかなというふうに思っております。1つ質問ですけれども、公園全体に対する公園の施設の建築面積というのが決まっているのではないかなと。機能沢山と言って体育館、これもあれもと言って大きくできるのは都市公園法の中で制約があるのではないかなと思います。その辺り建築面積について、例えば今の体育館よりももう大きくできないとか、YSアリーナもできましたので、あとこのぐらいは大きくできるとか、そのあたりいかがでしょうか。

会 長 はい、事務局のほうでわかりますでしょうか。

事務局 E委員のおっしゃるとおり建蔽率というものがありますので、それによって面積が決まってくるところもありますが、今の体育館よりは大きくできそうだとするところまでしか今はわからないので、詳しく建蔽率なども確認して次回の委員会ではお示しできればと思います。

E 委員 ありがとうございます。

会 長 後はよろしいですか。では次にF委員お願いできますでしょうか。

F 委員 皆さんおはようございます。八戸市中学校体育連盟のFです。よろしくお願いたします。中体連と致しましては、現在、市内の中学生が5,600人という中で、年に1回6月に、中体連夏季大会というものが一堂に集まって開催されております。そういった中では、今の八戸市体育館では卓球、バレー、バスケットボールの3種競技を持ち回りで使っているという状況になっております。その中でやはり中体連が一堂に会して大会を行うということであれば、保護者さんの送り迎え等ということを考えて場合、駐車場の確保が必須ではないかなと思っております。A委員からもありましたように、小型バスであったりマイクロバスであったりといった、動線がしっかり確保できるかどうかというところ、それから3年に1回、7月の海の日にかけて、県内の中学生が一堂に会して県大会夏季大会が青森・弘前・八戸の3市持ち回りで行われておりますので、コート面数と大きな4面もしくは3面の体育館があれば、バスケット、バレー、バトミントン、卓球なども開催できますので、それなりの人員を受け入れる施設が必要になってくるかと思っております。

また、生徒数の減少もあるのですが、令和8年度から計画されておりますのが現在中体連10地区での予選会で、各地区2チームで20チーム集まって行なっておりますが、令和8年を目途に8地区の地区大会ということで、八戸市と三戸郡が合同で大会を開催するという動きになっております。そういった場合、八戸市の体育館を使って、所謂三戸郡の生徒が一緒

に大会をやるという流れに今度はなってくるかと思えます。後2年後には、中学校の部活週末には地域と一体になってということもありますので、やはりそういった中では、地域と共に子どもたちのスポーツ人口を減らさないで部活動をどうやって維持していくかっていうところも課題になってくるかと思えますので、そういった子どもたちが夢を持ってスポーツに取り組めるような、施設になればいいなっていうことで願っております。以上です。

会 長 ありがとうございます。そうしましたら次にG委員よろしいですか、お願いいたします。

G 委 員 おはようございます。先日はありがとうございます。市民代表ということで初めてこのような委員に参加させていただいております。私は現在青森県スケート連盟に所属して、YSアリーナ八戸を度々使わせていただいております。YSアリーナ八戸で地域の方々が氷を通して楽しい時間を過ごす。子供たちが氷を通して、幸せ感を高めて、ああ八戸でよかったなあという郷土愛が育まれたらなあと思って活動したり、またYSアリーナ八戸を使う人々が増えることによって、周囲に経済効果を高められたらいいなあと活動しております。そんな私が、今発信できることは、YSアリーナ八戸とのバランスです。

小さい頃から長根公園に来て、スポーツの大会とかに参加させていただいて、本当にいい施設があるなと小さいながら感じていました。第1回目のときにこの委員会で長根公園再編プランという資料をいただきましたけれども、この図のように長根公園に集中してさまざまな施設があるといいなあと感じています。YSアリーナ八戸を利用する方を増やすために活動している中で聞こえてくる声は、まずアクセスがいいこと。街から歩いてリンクに来ることかできる。高校生であっても大学生であっても社会人であっても安心して移動ができる。首都圏や北海道からの交通アクセスが非常にいい、だから八戸を選ぶ。ただ長期間だとか夏の合宿となると、北海道の屋内リンクのある帯広は公園全体に沢山の施設があります。プールがあります。プールがあるとスケート選手はトレーニングの後、そこで体のリハビリができるので利用したいけれども八戸はプールがない。という声が聞こえます。そういった点から、この長根公園に沢山の施設が集約し、憩いの場ができることで人が集う。そこからさまざまな効果が生まれるっていうところが私はいいなと考えていました。以上です。

会 長 はい、ありがとうございます。そうしましたら次にH委員お願いいたします。

H 委 員 はい。私自身が障害者でありますので、その立場からもお話していきたいと思っております。皆様ご存じだと思いますが、ユニバーサルデザイ

ン 2020 行動計画というものがあります。この計画は、街づくりは障害の有無に関係なく共生で皆様に楽しんでいただくことが必要だと示されています。このようなことから、現在の八戸市体育館の利用スケールに関しては、まずそれだけの必要な面積も必要でしょう。となれば建物自体が地下 1 階、地上 2 階くらいの建物になるのではないかと考えています。その建物については、全体的に断熱性の性能あるべき建物にしてほしいです。というのは、障害にあっては体の不調にあっては体温調節できる方もできない方もおります。そういう環境で冷暖房空調設備を完全なものにしていきたい。また障害者であれば車椅子、松葉杖を使う方がいますので、その駐車スペースについては入口から近いほうがいい。ただ凍結、冬の場合は、車椅子を持ったり歩いたりする人たちには通路、入口から会場に入るまでの間には凍結防止策を施してほしいと思っております。また自動ドアはできるだけ引き戸がいい。レーダー感知をしないとき時もあるのであればタッチ式にするとか。災害時にあってはドアが開かないときには引き戸が開くかなんかすればいいので、そういうドアも必要になるのではないかと。エレベーターであれば上下のところにスイッチ、また車椅子の方とか障害者であれば、そこで回転できるような大きさのエレベーターが必要です。

障害者でなくても車椅子の方であっても、トイレに関しては手すりが全体的に必要なになってくると思います。そのトイレに関しても、内部障害の方も兼用できるようなものを作って計画していきたい。これは階ごとにあったほうがいいかと思えます。シャワールームもそうですが、車いすの方も使うとなれば不便ですが、身体を拭いたりすることはできます。そういった方も使えるようにしてほしいです。

それから建物全体の内部の角々を、できれば角を取ってもらえるようにしていきたい。転んだときやぶつかったときに、障害者でもほかの方でも、軽くぶつかったとしても大きいけがや事故にはならないかと思えます。一般の方もそうだと思うのですが、今の体育館を見ても階段の高さ、踏面が歩きにくいところがあります。両側に手すりをつけてもらいたいなどの要望があれば採用していくべきと考えます。例えば手すりも凹凸がついた滑り止めを施すなど。スロープに関しては誰でも歩ける、一般の方でも歩ける、また車椅子の 1 人でも行動できるような構造にしてほしいです。それからスポーツをやっている最中、さまざまに多少体の調子が狂った場合、医務室があればいいのではないかなと思っております。

またスポーツのさまざまな競技によっては、照度や空調の調整を自動的に行うと思いますが、極端に言えば卓球とかバドミントンなど、風の向きによってスポーツができなくなる可能性があります。その辺も考えてもらいたい。それから体育館の中に行く地下室のところもそうですけども、予備通路も必要と思いますが、この予備通路がある程度圧迫感のないものにすればよろしいかなとは思っています。

そしてもう1つ、この体育館がある程度設計ができたなら、市設計、市賛同者、福祉団体、障がい者等の団体と一旦説明とかそういう話の要望とかというのを聞く機会を設けることが必要だと思います。

最後に1つ。今ではどうなっているか分かりませんが、確か災害時の避難所になっていたと思います。これで一時的に避難所になれば食事やさまざまな面で苦勞を掛けると思うのですけども、準備も大変ですが、そうなった場合の一時的、小さい厨房でも設置してくれるような場所があれば、また必要かなと思っております。災害時に関しては皆さんもご存じのとおり、そういう蓄えておく場所、その他の倉庫も必要になるかと思いますが、全体において考えられるのは、障害者の方でも一般の方でも十分使える建物であれば、本当のデザインであるユニバーサルデザインの、2020行動計画の街づくりに進めていくのがいいのではないかと考えております。以上です。

会 長 ありがとうございます。そうしましたら I 委員、お願いいたします。

I 委 員 おはようございます。最後になりまして、初歩的な質問になってしまいますが、整備に関する基本方針があるなかで、経済界の立場から意見を言いたいなと思っているのですが、この検討委員会ではどういう内容を検討するのかというのがまだはっきりとしていなくて、たとえば体育館の機能についてどのようなものを入れていくべきなのかとか、あるいは敷地内での体育館の移転先の検討なのか、その辺がよく見えておりません。スポーツ関係ではないので、競技場の大きさとかってというのは意見が言いづらいところがあるのですけども、その辺もう1度教えていただきたいなと思っています。以上でございます。

会 長 はい。今のご質問ですが、最後、私のほうからも話をしようと思いましたが、ちょっと重なるところがあるので先に私のほうで話をさせていただいてから、質問のところに移りたいと思います。

私のほうからですが、今の皆様から色々ご意見いただいたなかで、この委員会自体が体育施設の整備検討委員会という名前になっていて、具体的には長根運動公園の体育館、八戸市体育館をどうするかというふうなことだったかと思うのですが、最初の A 委員から例えば話が合ったところとかを含めると、単純に体育館自体、体育施設自体をどうするかというよりも、長根運動公園の中自体をどう整備するか、つまり体育館以外のほかの機能も含めてかなりご意見があったかと思っています。今 I 委員からあった話も結局その辺りのところで、どこまでをこの委員会で検討するかということが1つお話であったかと思うのですが、逆に今の段階ですと、体育館だけではなく色んなところの意見ということで出させていただいていいのかというふうに、私個人としては感じております。

この間現地の視察をさせていただいて、私は近くに住んではおります

が、あまり長根公園に来たことがなかったのですが、実は体育館だけではなくあの辺り一帯が非常に大きな公園というか、そういった扱いができる場所かなというふうにも感じております。その意味では大きくあの辺りをたとえばスポーツパークというような形のものとして整備できれば、非常に有効なのかなというふうなことは感じておりました。ただこれがこの委員会で検討できる範囲なのかどうかということが、正直なところあまりよく分かりません。もしも可能であれば、そういったところまで含めてぜひ検討させていただければというふうに思います。I 委員いかがでしょうか、そういうふうなところが整備されれば良いということですかね。

I 委員 スケジュール的な説明は第1回目のときにお伺いしたいのですが、もう3回目になりますので、もっと踏み込んだような議論したいなということでお聞きしました。今の時点では了解いたします。

会長 事務局ではいかがでしょうか。その辺りのこと何かありましたら、お願いしたいのですが。

事務局 この委員会の役割はという基本的な確認だというふうに思いますけれども、やはり八戸市の体育館の建て替えに向けた基本構想を策定するというのが、第一時的な役割というふうに考えております。ただ、体育館の建て替えに関する構想の中には、現在の長根公園の中にある複数の体育施設、体育機能を一緒に集約をしようという考え方も含まれておりますので、そういった機能を体育館の建て替えに合わせて集約するのかということを考えるという意味では、幅広く公園内、運動施設としてどういう長根公園にしていくかということも検討の中に含まれるのかなと思いますけれども、ただ例えば武道館をまた別に公園内に建て直すとか、そういうことではなくて、体育館の建て替えを中心にした機能集約というようなことで、構想という形でまとめられればいいかなというふうに考えております。はい。以上でございます。

会長 はい。ありがとうございます。今のような形でお話いただきましたので、ちょっとその辺りを踏まえながらということで、お願いをいたします。そうしましたなら、今話をさせていただいた点がまず1つ感じたところでして、もう1点ありましたのが、今まで現地を見せていただけてかなり実は使われている、各施設が使用率の高いところだということが非常によく分かりました。かつ今日の資料にもありましたように、例えば地区大会ですとか、それから全国大会、国際大会等で必要な規模というところの算定というのが非常に良く分かったのですが、一方で市民の各団体が使用している時に、その使用率が、例えば100%以上になっている施設もおそらくあろうかと思えます。早い話が使いたいけれどももう場所が使われてしまっているケース。例えば、抽選とか行った際にあぶれてしまったとい

う団体がどのくらいあるのかと。実はそのあたりも規模を算定する際に、若干必要な視点かなというふうな気がいたします。もちろんあぶれたからといって全て用意してカバーしろということではないのですが、適切な規模を算定する時に、大会ともう一方で市民の使用率のところ、もしもどのくらい100%以上のところがあるのかというところが分かれば1つ参考になるかと思しますので、もしも可能であればそういったデータをいただけるとよいかというふうに思いました。はい。

そうしましたら、各員からお話をいただきましたが、ほかの委員のお話を聞いて何かご意見等ありましたら、挙手をお願いをしたいと思います。あの追加しての意見といいますか。そういったものはございますか。E委員どうぞお願いします。

E 委員 前回建物の案内をしていただいて、現在建っている建物の様子は分かったのですが、以前長根のYSアリーナ八戸の前に陸上競技場があったときに、ジョギングコースがありまして、公園内に何キロとか、そういうふうな表示のある中でコースが設定されていました。今でもYSアリーナ八戸の周りを走っている市民の方を見かけますが、これも機能集約の中に入るのかなと思いますが、そのようなジョギングコース、ランニングコース等の整備も長根公園の中に考えていくということで、文面では見かけたのですが、施設見学の際は説明なかったもので、それを確認したいと思って今、質問しました。いかがでしょうか。

会 長 事務局の方、いかがでしょうか。今の質問ですけども。

事務局 はい。市民のアンケートの中でそういったご要望があったと認識しておりますが、公園内の整備という中で、公園緑地課の緑の基本計画や長根公園再編プランと連携しながら、そういう要望もあるということをお話しながら進めていければなと思っています。

会 長 はい。ありがとうございます。そうですね。周辺整備の中でもおそらくは若干関連してくることかと思しますので、ぜひ検討の中に入れていただければと思います。ほかございますか。よろしいですか。G委員どうぞ。

G 委員 先ほどは意見を述べさせていただいた内容と重複する部分もありますが、今のE委員のご意見のランニングコース等の案は、この長根公園再編プランの中にもいくつか例があって、ジョギングコースが描かれている案もありました。それと同様な問題ですけれども、現在YSアリーナ八戸は2年間経って、利用客を集めるのにそんなに簡単ではございません。あのような近代的、多様な立派な施設ができました。じゃあ人をどのように集め、どのように経済効果をもたらすかっていうのは本当に様々な問題が絡んでいて、簡単にはできていないのが現状です。

前のアウトリンクがあった時に大会をやっていて、ここの良さっていうのは八戸市体育館があることです。どんなに外が吹雪で滑れないリンクであっても、八戸市体育館が控室として用意され、温かく独特な暖房方式で、小学生から大人までみな体育館に入ると体を温めることができる。リンクにいるのは最小限にして、八戸市体育館に長く居ました。そのリンクと体育館の相乗効果で良いものが生まれる。今後はそのYSアリーナ八戸と新しい体育館、ジョギングコースや球場、さまざまなものが共に良いところを活かしあって相乗効果を生みだしていくというふうになってくると、素敵なセントラルパークになるのではないかなと私は考えています。以上です。

会 長 はい。ありがとうございます。YSアリーナ八戸の存在というのは、やはり大きいものがあると思います。これは検討するのに非常に重要な点かと思えます。ほかございますか。C委員どうぞ。

C 委 員 F委員からもありましたけれども、体育館の規模、機能等についての審議がこれから中心にしていかなければならない部分もあると思うのですが、何より今の市体育館の面数はバスケットコート換算で2面であって、この2面というのはかなり県大会レベルのものをやるのは厳しいものがあるわけです。しかも東体育館もあるでしょう、南部山もあるでしょうというふうになるとは思いますが、そんなに移動しないで1施設で3面4面とれる体育館を今青森県内の多くの市町村を持っています。前の資料で、最近建てられた体育館の面積数がありましたが、例えば面数についての資料がないので、ほかのところ県内の色んな体育館の様子を見ると、やはり2面でしか運営できていないという市の体育館、あるいは県の体育館にしてもそうですけども、2面しかとれないっていう部分はやっぱり改善していかなければならない。やはり3面あるいは4面ということを考えていくということが、まず1つ規模を考えていくうえで非常に大きい要素になるのではないかなと思っていました。以上です。

会 長 はい。ありがとうございます。面積というよりコート数、実際の運用というところもけっこう重要な観点かと思えますけども、これも次回以降の中で検討していかなければならないですね。はい、ありがとうございます。ほかございますか。C委員もう一度どうぞお願いいたします。

C 委 員 もう一点すみません。私は今、公民館の館長をしておりますが、非常に今、八戸市の高齢者の方々っていうのは運動したい、スポーツ、健康そのあたりに関心がある市民の方がたくさんいらっしゃいます。公民館が使えなくなった時に卓球をやる人あるいは運動をする人、リズム体操する人その方々が、去年コロナの関係で公民館が休館になった時にどこを選ぶかという、市の体育館を選定されていたようです。毎週卓球やられている方

がどこを使ったかという市市の体育館を使わせていただいていますということで、多くの声をいただきました。やはりそういう高齢者の方も使える場所が今、八戸市体育館であるということは大事にしたいなと思います

あともう1点ですが、長根公園の水泳プール50mの公認のプールの件です。実質大会等はなかなか開けていないというのが実状で、学童の水泳大会にしても今は八戸工業大学のプールも使われなくなりましたし、今現在大会やっているのはヤクルト八戸スイミングスクールのプールを使っているというような状況です。水泳に親しんでいる子どもたちが多い中で、大会で使うプールとして市の施設が機能していないという部分があると思いますので、長根公園の水泳のプールについては移築または機能集約を検討するというようなお話もありますけれども、屋外でいいのかどうかということも含めてやはりここは大事な点かなと思っています。体育館を長根公園内で移転するとなると、その場所をどこにするか、やはり今あるスポーツ研修センターや水泳プールのあたりをどうするのかということが大きな要素になってくるかと思っています。以上です。

会 長 はい。ありがとうございます。プール、確かに大きな要素かと思っています。ほかございますか。E委員お願いいたします。

E 委 員 先ほどI委員からお話がありましたけども、機能について、スポーツだけの機能でなくてやはり八戸市以外から来る方々、G委員もおっしゃっていましたが、来てよかったと言える中には、やはりおもてなしの機能ということも必要なのではないかなと。ただこれがスポーツそのものに直接結びつくわけではありませんので、どのようなかたちで体育館、長根公園が新しくなった時に経済効果が生まれるか、それが施設そのものの機能になるのか、あるいは回遊性から導き出されるものなのか、そのあたりも具体的に意見が皆さんから出ればいいなというふうに思います。以上です。

会 長 はい。ありがとうございます。いわゆる外部からの方に対してのその機能といいますか、そういったところの検討も確かに必要になってこようかと思っています。移動の話も先ほどありましたが、そういったところも含めて外部施設を整備するわけではありませんが、関係性ですね。充分検討するといいますか、していく必要があるかと思っています。はい。ほかございますか。A委員どうぞ。

A 委 員 何か話が体育館の話にいたり、それから色んなランダムというか、色んな話が出ていますけど、こういう流れで話がいいのかですね。というのはもし体育館に絞るのであれば、私は体育館に関しての意見はあります。そうじゃなくて、今のようなかたちで各自がスケートリンクの話が出たり色んな話が出ていますけども、こういう方向で議論していけばいいのか、ちょっと話を聞きながらどこに何の話をすればいいのか、ちょっと私自身

はちょっと迷っているのですけども。

体育館に関してもし話をするのであれば、私は今、市の体育施設、体育館に関しての一応思っていることはありますけれども、その他その整備全体の、長根公園の整備という話になってくれば、皆さんと同じようなかたちで色んなご意見を述べたいと思うのですけども、その辺ちょっと、こういう流れでいいのかどうか。

会 長 私のほうで今日ちょっと考えていたことというのは、皆さんからの多分、現地を見て様々な御意見があろうかということと、体育館の整備といいながら体育館とその周りのことを完全に切り離すことはまず難しかろうと思っております。今のこの体育整備は、具体的計画の入口ということで、今日はできるだけその様々なところをまず吸い上げておいて、今日出た話が全て議題にあがるかどうかわかりませんが、まずは出しておいたほうがよいのかということで、皆さんからのある程度フリーなかたちでご意見を伺っておりました。そのあたりいかがでしょうか。

A 委 員 体育館の建て替えについての経緯は、冒頭話しましたが、私は体育館に関しては、八戸市の体育館、特に八戸市体育館は、フロア面積は県南でも一番広いわけですが、ただちょっと欠点はステージに行きたい場合にメインアリーナを通らなければステージに上がっていけない。東体育館もそうです。それから南郷の体育館もそうです。南部山の体育館も同様です。そういう点で、近場であれば南部町の体育館、あとはおいらせの体育館。こういうところは、通路、要するに廊下があって、それで正面玄関から廊下を通してステージに行ける。ですから競技の中を、やっている中を通る必要がない。そういう点は他の地区は小さい体育館もそういう造りになっています。八戸市はそういう体育館が1つありません。ですから先ほどC委員が話されたVリーグとか、そういう大きいイベントに関してはなかなか大変だと。そういうふうなことは凄く感じております。

あと、八戸市体育館は他の体育館とどこが違うかというと、いいところは1つあります。それは他の体育館にはあまりないところで、1階がトレーニングルームになっています。出入り口がほとんどの体育館は、フロアに、競技するためにフロアに行く場合に、あと、トレーニング室も、必ず出入り口が1か所しかありません。そういう点で、市の体育館の場合には、1階のトレーニング室それから2階のメインアリーナが別になっていますので、大きいイベントを持ってきても1階でトレーニングができる。そういう点が、東体育館とか他の場合は、イベントをやっても必ず出入り口が一緒なので、何かやる場合には全館借りなければならない。そういう点で、八戸市体育館は他にない良い施設でもあります。そこを残しつつ新しい新体育館を建設していけばいいのではないかなと個人的には思っております。

具体的に話をすれば、1階をトレーニング室、トレーニングルームとか。あと、エアロビクスとかそういうふうなダンス教室とか。そういう施設を1階に持ってきて、出入り口を全部別々にして、それで2階はできれば3面ないし4面。メインアリーナですね。あと、サブが1面ないし2面。人口的には八戸が島根県の松江市と大体同じぐらいです。二十数万人の都市で、それで松江の体育館でメインアリーナ、メインが3面それからサブが2面、合計5面ですね。それで大体60億ぐらいで完成していますので、十分八戸市もそのぐらいの体育館は造ることができるのではないかなと思っております。以上です。

次第4 その他

会長 はい、ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。ご意見大体よろしいですかね。そうしましたら、皆さまからのご意見ありがとうございました。ただいまいただいた意見ですね、事務局に整理いただきまして、次回その内容を元にしまして審議をしたいと思っております。

次第5 閉会

司会 ありがとうございます。次回の会議ですが、次回は、5月を予定しております。日時や場所につきましては後日ご連絡いたします。以上をもちまして、令和3年度第3回八戸市体育施設整備検討委員会を終了いたします。長時間にわたり、ありがとうございました。